

「犯罪機会論」を取り入れた 安心安全なまちづくりを

都民アクトの会中野区議員

渡辺 たけし



犯罪の予測を科学的に検証する「犯罪機会論」を取り入れて、犯罪減少につながるまちづくりの在り方を検討してはどうか。

区長 区の実態等を総合的に踏まえ、その効果について検証していきたい。

ICTを活用した 区民向けサービスの推進を

新区役所整備に向けて、区役所内の紙の文書や資料を電子化し、業務の効率化や、区民サービスの向上につなげてはどうか。

区長 ICTを活用したサービスの向上や、紙文書の

ペーパーレス化など、具体的に検討を進めていく。

保育園の利用者目線に立った 利便性の向上を

保育園の見学予約について、現在電話予約のみの受付であるが、インターネット上で予約ができ、見学可能日時を確認できるシステムを導入すべきではないか。

区長 現在は相談内容を確認するためなどの理由で、電話予約に限定しているが、利便性向上について検討していく。

区長の施政方針説明を問う

自由民主党議員団

高橋 ちゆり



①区政への区民参加を進める努力とは具体的にどのようなものか。②区政運営の基本姿勢として「子育て世代に選ばれた中野区を目指す」としているが、その中身は。

区長 ①政策決定過程の公開や区民との対話の場の見直しを行い、区政参加の促進のため工夫していく。②子育て

世代に対する地域包括ケアシステムの構築や、保育園の充実、多世代が交流する児童館の確保、親子で楽しめる公園の確保等を想定している。

①区長は「すべての子ども」の学びと育ちを支える区政への転換」を述べているが、教育長にはどのような人材を考えているのか。②教育委員会とはどのような関係構築していく考えか。

区長 ①中野の教育向上に強い使命感を持ち、民間の経営感覚の視点での取り組みや業務改善を進めていくことができる人材を任命したい。

②教育委員会は独立した行政委員会であることを前提とし、教育委員との十分な意思疎通により、中野の教育の充実について共通理解を持って進める関係を築きたい。

家庭や地域との連携を深め 公教育を充実させよ

公明党議員団

久保 りか



これまで幼稚園、小中学校は、家庭や地域との連携を深め、支えられてきた。学校と地域が一体となり学校の諸課題に取り組み、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクールを推進すべきでは。

地域包括ケアを推進せよ

①高齢者・障害者・乳幼児親子の外出時の移動を円滑にするために、新交通システムを導入に取り組んでは。②ダブルケアなど、複数の生活問題を抱えた世帯が増加している。在宅生活をサポートする

杉並区在宅医療・生活支援センターのような機能を強化することが非常に重要では。

①区民ニーズの調査や交通不便地域を踏まえた検討を行っている。先進事例の調査や制度的課題、費用対効果等、調査・研究を進めた

②関係機関調整等の機能について、杉並区の事例を参考に、更なる強化を図りたい。

西武新宿線沿線を活性化せよ

①沿線まちづくりと併せた商店街のにぎわい創出についての考えは。②商店街活性化や街のにぎわいに対する具体的な支援策等を示すべきでは。

区長 ①道路の整備や拡幅、地区計画の導入等により、にぎわいの再生・創出を図っていく。②専門家派遣事業をはじめ、様々な支援制度を周

知し、活用を促していく。経緯を踏まえた整備方針を

野方、鷺ノ宮、都立家政駅では、地区まちづくり検討会から、駅周辺地区まちづくり構想が示されている。区長は「地域が取りまとめた構想を踏まえ、まちづくりの整備方針を検討していく」と述べているが、改めて決意は。

区長 まちづくり構想は、検討会が2か年話し合いを重ね、地域の意見を取り入れたものと受け止めている。地域の想いである構想を踏まえた整備方針を策定予定である。

鷺ノ宮駅周辺の水害対策を

公社鷺宮西住宅建て替え時には、水害対策のための調節池を整備し、上部にふたを掛けて公園を整備するなど、中野区が地域資源として活用できるよう、都に働きかけては

区長 都と連携していく必要があると認識している。

将来への展望を描く 財政運営の考え方を示せ

自由民主党議員団

北原 ともあき



人口減少社会が進み、税収の増加などの財源確保が大きい見込みのない中で、今後は学校の改築やまちづくりなどの財政負担が重くのしかかってくる。区長は所信表明の中で様々な新しい事業の展開について述べているが、財源については全く触れていない。今後、基金や起債の活用を含め、どのような財政運営を進めていこうとしているのか。

区長 事業の不断の見直しを図り歳出抑制に努めるとともに、事業の実施に当たっては、区民サービスを停滞させない安定的な財政運営を目指して基金や起債を計画的に活用する考えである。

平和の森公園再整備を問う

平和の森公園再整備事業は、

基本構想段階から意見交換会を何度も行い、自治基本条例に基づくパブリック・コメントにより区民の計画策定への参加を果たしながら工事に着手した。それにもかかわらず、区長は所信表明で「もう一度区民の皆さんの意見をしっかりと聞いて必要性を判断する」と述べた。①これはどういう意味なのか。②それにより、事業の遅延や開園時期の遅れは生じないのか。

区長 ①多くの区民がトラック機能やパーベキューサイトの必要性に疑問を持っているので、区民の皆さんの意見を聞いてもう一度判断するという意味で説明したものである。②工事や開園の遅延が出来るだけ発生しないよう、検討を進める。

学校跡施設の有効活用を

旧沼袋小学校の校庭は、現在日曜の地域開放のみで平日の貸し出しを行っていない。スポーツ振興や健康づくりの観点からも、統廃合後の施設は有効活用すべきでは。

区長 旧沼袋小学校校庭の平日利用について、早急に検討したい。

中野区議会では、ペーパーレス化等の推進のため、タブレット型携帯端末等を使用しています。

情報公開・区政の「見える化」を推進せよ

立憲民主議員団

森 たかゆき



①来年度予算編成から、各部要求、財務部局査定、区長査定の各段階での金額とその変遷が分かるように情報公開を進めるべきでは。②区長記者会見の情報は、区のHPに掲載されているだけである。動画配信や質疑応答を含めた書き起こしテキストの公開を進めるべきではないか。

区長 ①予算査定の段階を含めて予算編成過程を公開することは、区民の区政への参加を進める上で、必要なことである。公開の方法については他区の事例も参考にしながら検討する。②動画配信等については効果的な発信方法を検証し、早期に導入する方向で検討する。

①区立保育園民営化計画を一旦ストップし、再検討すべきでは。②区長は、おむつの持ち帰りについての民間団体からの公開質問に対して、「保護者の負担軽減や公衆衛生の観点から、保育園での処理に切り替えたいと考えている。」と回答している。この回答の通り、区立保育園におけるおむつの持ち帰りは、なくす方向で取り組むべきでは。

区長 ①民営化が予定される保育園では、事業者が決

区立保育園の今後を問う

まっている計画を変更することで新園の建て替えが難しくなるなど、様々なリスクが想定される。このことから慎重に検討すべきであると考える。

②おむつを一時的に保管する場の確保等について調整するなど保育園でのおむつの処分導入に向け、検討する。

まっている計画を変更することで新園の建て替えが難しくなるなど、様々なリスクが想定される。このことから慎重に検討すべきであると考える。

